

医療の担い手としてのこころ構えC (Attitude toward medical care C)					担当教員
					教授 西口 工司
					講師 今西 孝至
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
薬学教養	3年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

高度化・多様化が進む医療環境の中で、真に社会に貢献する薬の専門家である質の高い薬剤師として、Science（科学）、Art（技術）、Humanity（人間性）をバランス良く有し、高度の専門的能力を兼ね備えたファーマシスト・サイエンティストが望まれている。本講義では、薬剤師あるいは薬学研究者として活躍する様々な領域の専門家から社会におけるそれぞれの役割に加えて、また専門性に応じた倫理観などについて学ぶ。

なお「同名科目A」で学んだ基本的事項、「同名科目B」で学んだ具体的な局面を想定した実践的取り組み方を踏まえ、本講義では、社会的役割を担う総合的能力を備えた医療の担い手としての心構えを学ぶ。

【授業の一般目標】

多岐に活躍しているファーマシスト・サイエンティストの社会的役割の多様性を理解し、職種ごとに求められる実践的な専門的課題や倫理的問題が異なる点や、問題解決に向けた適切な実践的態度について理解する。

【準備学習(予習・復習)】

次回の学習項目に該当する内容に関して、インターネットなど介して予習した上で講義に臨むこと。受講後は、配付されたプリント等を見直し、要点をまとめるなど復習すること。なお、予習と復習を合わせて1週あたり150分程度の学修が必要である。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	超高齢社会の薬剤師	松村	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる 今後の医療における薬剤師の役割を理解する	A-(1)- -1 A-(1)- -8
2	患者が望む薬剤師像	山口	医療過誤、リスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を理解する 次世代の薬剤師に患者が期待する活動や役割を理解する	A-(1)- -2 A-(2)- -1 A-(3)- -1, 2
3	医療報道と薬剤師	北澤	医療過誤、リスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を理解する 次世代の薬剤師や薬学研究者に社会が期待する活動や役割を理解する	A-(1)- -1
4	薬剤師の現状と将来	児玉	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識する 薬剤師の現状と次世代の薬剤師があるべき姿を理解する	B-(4)- -1, 2 B-(4)- -2, 3
5	薬学部卒業生の国家公務員の仕事	安川	大学病院における薬剤師の活動や役割を理解する 国家公務員としての薬学出身者の役割について理解する	B-(4)- -3, 6 F-(4)- -1
6	地域医療における次世代の薬剤師像	今西	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる 地域医療における次世代の薬剤師の活動や役割を理解する	A-(1)- -6 A-(5)- -1 B-(4)- -4, 5 F-(5)- -1, 2, 3 F-(5)- -1
7	三方よしと病院薬剤師	寺田	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる	A-(2)- -2 A-(5)- -1 F-(1)- -1, 3

8	製薬会社における研究開発と課題 - 企業研究者からの京薬生へのメッセージ	森脇	今後の製薬企業における研究開発の課題について説明できる 医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向けることができる 製薬企業における研究開発を理解する	A-(1)- -5
9	医薬品開発を通じての社会貢献	中森	医薬品開発に必要な業務を理解する 医薬品の開発が社会に与える影響について説明できる	
10	製薬企業（営業・学術部門）の業務と役割	山村	製薬企業におけるMRや学術部門の業務や役割を理解する	A-(5)- -1, 2
11	医療の担い手としてのこのころ構え—地方公務員として—	大崎	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる 地方公務員としての薬剤師の業務と役割について理解する	B-(4)- -4
12	“病院薬剤師” 医療現場で起こっていること	三上	医薬品の使用に関わる事故回避の重要性を自らの言葉で表現できる 地域中核病院における薬剤師の活動や役割を理解する	F-(1)- -1, 3 F-(5)- -1
13	（独）医薬品医療機器総合機構について	長谷部	医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向けることができる 医薬品医療機器総合機構における業務と薬学出身者の役割について理解する	B-(2)- -2, 11
14	社会における薬剤師の活動	西口	社会で活躍する薬剤師や薬学研究者の活動を概説できる	A-(1)- -2 B-(4)- -5 F-(1)- -3 F-(4)- -2
15	総括・まとめ			

（書名）

（著者・編者）

（発行所）

教科書 プリントを適宜配布する。

【成績評価方法・基準】

定期試験による講義内容についての知識の理解度（90%）、および講義内で提示した実践的課題への取り組みとそれを踏まえた定期試験の論述（10%）により総合的に評価する。

なお、実践課題への取り組みについては、講義内容を参考とし、医療の担い手として、あるいは職種ごとにどのようなこのころ構えを必要とするかについてのSGDによる検討の経過とまとめ、必要に応じた発表及び提出プロダクトの内容を踏まえ評価する。具体的な取り組み方については、講義内で説明する。

【評価のフィードバック】

合格発表以後、個別に対応する。

【非常勤講師】

松村理司（医療法人社団 洛和会 洛和会ヘルスケアシステム総長）

山口育子（NPO法人ささえあい医療人権センター（COML） 理事長）

北澤京子（医療ジャーナリスト、本学客員教授）

児玉 孝（前日本薬剤師会会長、株式会社和歌ノ浦薬局法人代表）

寺田智祐（滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部長・教授）

安川孝志（学外招聘講師）（厚生労働省保険局医療課）

森脇俊哉（武田薬品工業株式会社 薬物動態研究所 リサーチマネージャー 開発動態部門長）

中森省吾（パレクセル・インターナショナル株式会社 代表取締役）

山村博一（大日本住友製薬株式会社 CNS企画部 CNS第2プロダクトグループ グループマネージャー）

大崎祥子（滋賀県立成人病センター 薬剤部長）

三上 正（本学特定講師）（京都第二赤十字病院 院長補佐・薬剤部長）

長谷部和久（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 レギュラトリーサイエンス推進部 部長）

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

オフィスアワー（西口、今西）：木曜日 12:30～13:30

なお、出張等で不在の場合があるので、事前にメール等で日時を確認することが望ましい。

西口：臨床薬学分野 教授室（愛学館5階）、今西：臨床薬学教育研究センター 情報処理室（3F）
非常勤講師への質問等は、できるだけ授業時間内に行うこととし、後日の場合は西口まで申し出ること。